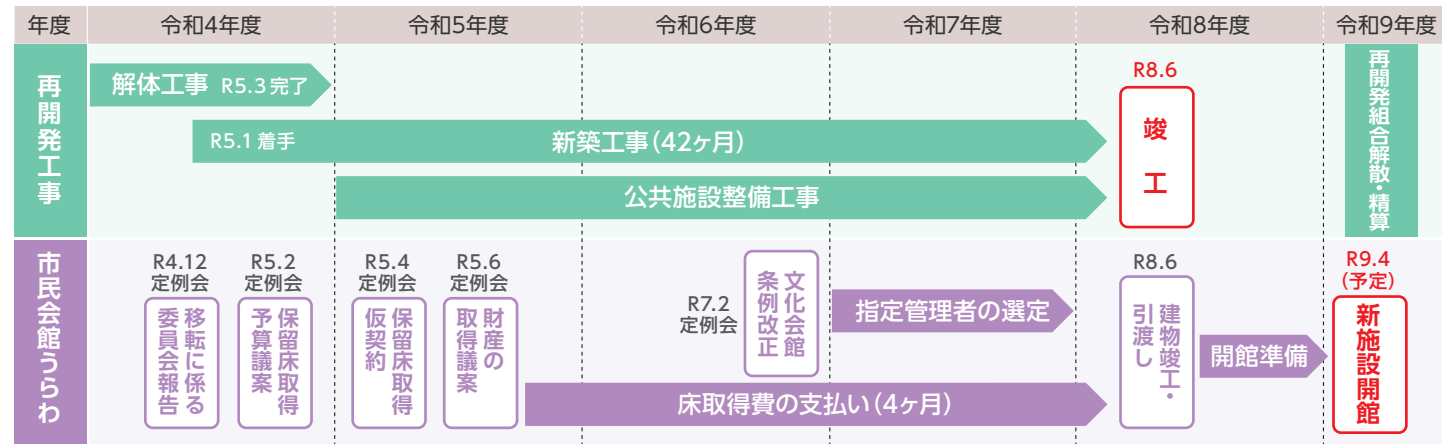


浦和駅西口南高砂地区第一種市街地再開発事業のスケジュール

JR浦和駅西口前の浦和駅西口南高砂地区第一種市街地再開発事業は、マンション、商業施設、市民会館からなる複合施設となる。総戸数525戸、地上27階、地下2階、高さ99.38mのマンションは、URAWA THE TOWERとの名称になった。2026年4月中旬に竣工予定です。低層部には商業・業務施設が入る。核テナントなどは、まだ未発表。新しい「市民会館うらわ」の開業は竣工後、引っ越しや諸準備の後の令和9年4月を予定する。旧会館とほぼ同規模で、650席

程度のホールを中心に4つのホール、音楽や演劇などのスタジオ機能も備え、集会所や展示室、お茶用の炉を備えた和室を完備する。公募した愛称は、2月ごろ決定予定。

また、市民、地域団体などからご要望のある、以前あったあさひ通りの代替通路に関しては、1階部分に南北に通抜けができる通路を計画しており、通行可能な時間帯については、伊勢丹・コルソの通路開放時間等を参考に検討中とのこと。



小柳よしふみ 地域活動



十二日まちでの巡回ボランティア
例年通りの大盛況の中、地元ボランティアの皆様と巡回



小学校における福祉体験授業
高齢者や障がい者の疑似体験をする授業では、社会福祉協議会の皆様が講師



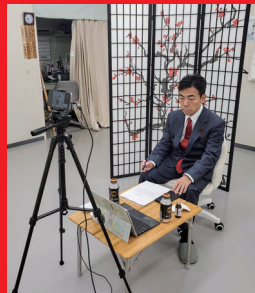
見沼田んぼの保全活動
見沼田んぼは都市近郊の貴重な自然であり、自然の恵みも提供してくれる



防災アドバイザーとして避難所運営訓練の指導
各地の避難所運営訓練の講師役として参加



ごみゼロ運動に参加
清掃事業でありコミュニティ醸成、まちの点検活動にもなっている



明治大学ガバナンス研究所におけるゲスト講師
公共政策大学院で学ぶ皆様へ、地方行政についてのゲスト講師を務めた

ご意見・ご要望をお聞かせください

お名前 _____ TEL _____

ご住所 _____

第54回 市政報告会

北浦和カルタスホール
クイーンズ伊勢丹3階

日時: 令和7年 **1月26日(日)**
18:30~20:00

会場: 北浦和カルタスホール
第1会議室(北浦和1-7-1)

入場無料

zoom
オンライン
参加可



市政へのご要望・ご質問は

小柳よしふみ 事務所

E-mail info@koyanagi.jp

ホームページ http://koyanagi.jp/

ブログ http://ameblo.jp/y-koyanagi/

〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町23-19-2F

TEL: 048-799-3232 FAX: 048-799-3233



こやなぎ

小柳よしふみ

小柳よしふみ

検索

市政レポート
2025.1 vol.62小柳よしふみ 事務所 〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町23-19-2F TEL: 048-799-3232 FAX: 048-799-3233
E-mail info@koyanagi.jp ホームページ http://koyanagi.jp/ ブログ http://ameblo.jp/y-koyanagi/幸せな日常を実感できる
さいたま市であるために!

～ 最良のコミュニケーションで最良のまちづくりを ～

皆様におかれましては、新たな気持ちで新年をお迎えのことと思います。幸せいっぱい的一年であるよう心よりお祈り申し上げます。

昨年は衆議院総選挙があり、政治とお金の問題がテーマの1つでありました。直近の兵庫県知事選挙の混乱だけでなく、パワハラやセクハラまがいの事案がたびたびニュースになっています。また、さいたま市政においては、不正事案などもあって令和4年度、5年度と2年連続で一般会計決算が議会で不認定となっています。異例の状況です。また、2025年は団塊の世代が後期高齢者となり、2025年問題がいよいよ現実を迎えます。そんな厳しい状況の中、議員は多岐にわたって行われている市の施策をきちんとチェックし、また皆様の声を形にして行かなければなりません。小柳よしふみは、真摯に取り組んで、これからも議員の職責をしっかりと果たしてまいります。

さて、私は、最高の日常を過ごせることが、多くの市民にとって幸せなまちだと考えています。障がい者や高齢者だけでなく、子連れで大変な方などにとって優しいまちは誰にとっても優しいまちになります。子どもたちやご高齢者はもとより、都内に通勤・通学されている方も週末や夕刻以降など多くの時間をこのまちで過ごしています。多くの市民が最高の日常を実感できるさいたま市であるよう本年も活動してまいります。

また、皆様の声を形にできるよう真摯なコミュニケーションに心掛けております。各定例会後に発行してきたレポートの作成や市政報告会は、本年も継続してまいります。

最後になりますが、皆様におかれましては、どうかご自愛いただき、元気で過ごされることを心よりお祈り申し上げます。

- 昭和40年(1965年)8月27日生まれ A型
- 浦和市立高砂小、岸中、県立浦和高、慶應義塾大商学部卒業。
- 埼玉銀行を経て、警備会社を経営。平成23年よりさいたま市議会議員(浦和区)。
- 平成27年(2期目)、平成31年(3期目)、令和5年(4期目)浦和区にて当選。
- 総合政策委員会、予算委員会、市庁舎等整備検討特別委員会、超高齢社会に向けた公共交通の在り方検討特別委員会。
- 地域政党さいたま未来プロジェクト代表。



議会ごとに市政レポート発行(vol.62)
市政報告会開催(53回) 継続中!

TOPICS

1 さいたま市の人口は、135万人



本市の人口は、1,350,607人(12月1日現在)で、前年同月比5,732人増となった。全国20政令市中9番目の規模。市内10区では、南区の195,598人が最大で、2番目は、浦和区169,879人、3番目が見沼区165,484人となっている。

2 さいたま市二十歳の集いは、1月13日



成年年齢が18歳になるに伴い「二十歳の集い」へと名称を変更、対象者を20歳の方とご家族として開催されている。参加者は1月10日(金)までに事前登録を(案内状に記載のIDが必要)。申し込みやIDの問い合わせなど詳細は専用サイトへ。会場はさいたまスーパーアリーナ。

3 デジタル地域通貨の現金チャージ・新サービス開始!

デジタル地域通貨「さいコイン」の現金チャージが、セブン銀行ATMで可能となった。初回1万円以上現金チャージで2千円相当のポイント「たまポン」をもらえる。また、2月からキャッシュレス決済に対する30%ポイント還元サービスが新たに始まる。詳細は、今後発表される告知でご確認ください(関連記事 中面)。

スマホATM
(現金チャージ)

4 さいたま市長選挙は、5月25日



任期満了に伴う市長選挙の日程は、5月11日告示、5月25日投票と市の選挙管理委員会より発表された。これまでの市政を検証し、今後のさいたま市の在り方が議論される場となる。ぜひご注目、投票にて意思表明を!

12月定例会から

12月定例会では、議案63件、請願13件を審査し、議案はすべて可決された。報酬等審議会からの答申を踏まえ、市長等特別職、職員、議員の期末手当につき年間支給月額を0.05月増やす議案も可決された。小柳は、議員の定数や処遇などは専門家、市民代表で構成する第三者審議会の答申を尊重することを基本としてきた。ただし、今回は、約58.7億円もの物価高騰対策の補正予算が組まれる市民生活の状況を鑑み、議員報酬を上げる議案については賛成していない。その他、子育てや若者支援、まちづくり事業の補正予算も可決されている。一方で、順天堂大学新病院の計画が白紙撤回されるなど課題が浮かび上がった定例会でもあった。



補正予算（追加補正も含む）

- ① 中央区公共施設再編・複合化事業 …… 債務負担行為 限度額 31,412,382千円
- ② (仮称) 次世代型スポーツ施設整備事業 …… 債務負担行為 限度額 13,071,978千円
- ③ 浦和駅西口南高砂市街地再開発事業補助金 …… 1,494,384千円
- ④ 1か月児検診への助成事業 …… 853千円
- ⑤ 若者自立支援ルーム運営事業 …… 債務負担行為 限度額 125,775千円]
- ⑥ 市立病院における医師不足対策など …… 72,956千円
- ⑦ 物価高対策事業 …… 5,866,353千円
デジタル地域通貨ポイント還元による生活・消費下支え事業 …… 1,182,952千円
住民税非課税世帯の1世帯につき3万円の給付事業 …… 4,247,408千円
低所得の子育て世帯の児童1人につき2万円の給付事業 …… 350,378千円
- ⑧ HPVワクチンのキャッチアップ接種 …… 1,156,983千円
- その他、スマイルロード事業、大和田小学校整備や大宮国際中等教育学校の物価スライド対応、大宮駅西口第5地区整備関連予算などが承認された。

●順天堂大学新病院の計画が白紙撤回！

美園地区に予定していた順天堂大学新病院の整備計画は、同大学より断念の報告が県、市にあった。開院予定は約10年遅れ、事業費は当初見込みの約2.6倍である2186億円となっていた。この間、県内で800床の病床が活用されず、県北など医師不足地域への医師派遣の課題も残される。さいたま市は4.7haと埼玉県3haより大きな面積を確保し、その土地購入に約69億円を費やしており容易に看過できることではない。市内には市立病院、日本赤十字病院や埼玉メディカルセンターなどもあり、市の医療体制が不足するものではないが、美園地区の発展や地下鉄7号線延伸の議論には大きく影響する。今後は、地区計画により公共性のある用途に制限がある中で、土地の有効活用の検討が求められる。この点、順天堂大学病院計画においては、市民や議会への情報提供や説明が不足しており、今後はその点も善処が必要と考える。



●デジタル地域通貨の現金チャージ・30%ポイント還元開始

「さいたま市みんなのアプリ」で使えるデジタル地域通貨「さいコイン」に関し、12月1日からセブン銀行ATMで現金チャージが可能となった。初回1万円以上チャージすると、2千円相当のポイント「たまポン」がもらえる。これまでの銀行口座やクレジットカードからの初回1万円以上チャージで2千円相当を付与するキャンペーンも継続中で、両方でチャージすると合わせて最大4千円相当の「たまポン」がもらえる。また、2月からキャッシュレス決済に対する30%ポイント還元キャンペーンが始まる。ポイント還元期間は2月～4月、ポイント利用期間は3月～5月となる見込み。詳細は、今後発表されるキャンペーン告知でご確認ください。なお、小柳はこれまでも問題提起をしてきたが、行政と運営会社の費用負担の在り方などには、これからも留意していきたい。



キャンペーン案内

総合政策委員会より

総合政策委員会では、9月定例会に引き続き、職員に対するカスタマーハラスメントの問題や、災害対策について議論を実施。

●カスタマーハラスメント対策を進めるべき

Q 行政や教育現場におけるカスタマーハラスメントの現状をしっかりと把握したうえで、職員を守る体制の再構築を図るべきではないか？

A 職員個人を特定した誹謗中傷や不当な要求をする事案があることは認識している。行政暴力対応マニュアルにより各所管において対応をしているが、全庁的な現状把握はできていない。今月中を目途に、ハラスメントの状況について現状、過去も含めた全庁調査を実施する。調査は今後も継続的に行い、対策を講じていく。調査の対象は、本庁のほか出先機関や学校、公民館なども含まれる。回答内容に応じて、被害を相談しやすい外部の相談窓口の設置なども研究していく。



小柳の視点

役所の窓口や学校現場がどんな状況であるのかを把握することが第一歩である。小柳の提案を受けて、速やかに全庁調査を開始したことは評価する。現状を的確に把握し、職場環境の改善やトラブル解消を図って、職員の退職や休職、不正事案を防ぐべきである。現場の職員が相談しやすい環境づくりも重要と考える。

●災害時のトイレ問題など災害関連死対策を進めるべき

Q 大規模災害時の災害関連死の想定や対策はどうなっているのか？特に、被災後の健康被害に直結するトイレ不足対策について、携帯トイレ等の購入支援制度を導入するべきではないか？

A 災害関連死に関する被害想定人数の算出は行っていない。マンホール型トイレなどで避難所に避難すると想定される12万3千人の3日分の対策は行っている。停電等によりトイレが使えなくなる地域・マンション住民等への対策は考慮していない。対策の必要性は認識しており、啓発に努める。マンション管理組合を防災機材補助対象とするかについては、庁内関係部署で検討する。

小柳の視点

災害時のトイレ問題は、想定内であり対策は必須である。そもそも10年以上行っていない大規模災害に対する本市の被害想定を急ぐべきである。市民調査によると大半の市民が災害時のトイレ対策をしていない。啓発だけでは、なかなか対策は進まない。電気火災防止対策の感震ブレーカーのような購入補助制度を行うべきと考える。

防災 耳より情報



参考情報

災害時の

トイレ問題は想定内！

想定外のことが次々起こるのが大規模災害。想定外に適切に対応するためには、想定内の事に対するしっかりした準備が重要。この点、大規模災害時に必ず大問題となるのが水とトイレであることは、過去の事例から明らかで、想定内の課題。

大災害の時に停電などで水洗トイレが使えなくなる事は頻繁に発生する。トイレの課題は、多くの健康被害と衛生環境の悪化をもたらす。行政は、避難所の避難者向けのトイレ対策は行っているが、実際の対応は難しい。さらに、在宅避難者のための対策を考えていない点が大問題である。国の首都直下地震対策の検討会でも、マンション住民などが避難所のトイレに押し寄せる可能性と対策についての指摘がある。各家庭における簡易トイレや携帯トイレなどの準備が重要である。携帯トイレは、長時間ドライブの際に使用できるものもあるので、ぜひご準備を。

